

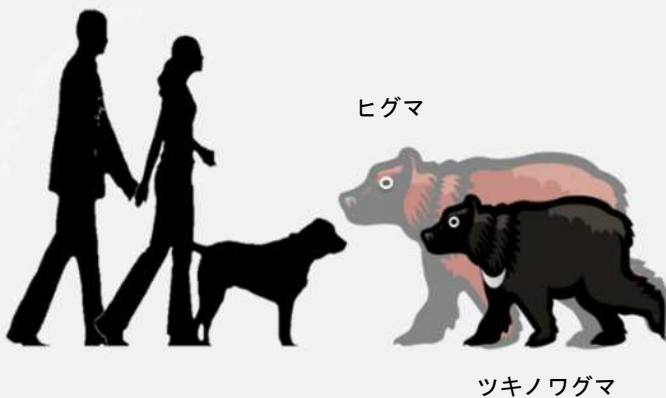
クマにご注意ください！

近年、土岐市内でもクマらしき動物の目撃情報が多数寄せられています。

山間部を中心に、岐阜県のほとんどの地域でツキノワグマが出没しています。ツキノワグマは本来臆病な動物なので、人に見つからないよう隠れて生活しています。このため、出没の報告が無い地域にも生息している可能性があります。

春の子育て期や秋の発情期にはクマが活動的になります。これらの時期には、クマに遭遇する可能性が高まりますので特に注意してください。

クマ類のおおよその大きさ



ツキノワグマ (食肉目 クマ科 クマ属)	
体長	120～145cm
体高	60cm前後
体重	40～130kg
視力	あまり良くない
聴力	非常に優れている
嗅覚	犬並みに鋭い
食性	雑食性
行動範囲	25～100km ²
走るスピード	時速50km程度

クマによる人身被害を防止するため、次のことに注意してください。

クマを寄せ付けない

- ・ 里山や住宅地周辺の藪や河川敷等の刈り払いを行って見通しを良くし、クマの移動経路となる環境を作らない。
- ・ 生ゴミがクマの餌とならないよう、ごみ出しのルール徹底やゴミ集積場の対策を地域ぐるみで取り組む。
- ・ 住宅地やその周辺では、収穫しない放置果樹は早めに実を取り除き、又は木を伐採する等クマの餌となる果樹を残さない。

クマに出会わない

- ・ 県や市等がお知らせするクマの出没情報や被害情報に注意する。
- ・ やむを得ず山に入る際には、事前に出没情報や被害情報を確認し、クマ鈴やラジオを利用して自分の存在を示すとともに、複数人での行動を心掛ける。
- ・ クマの活動が盛んになると言われる早朝や夕方は特に注意する。

もし、クマに出会ってしまったら

- ・ クマは本能的に逃げるものを追いかけようとするため大声を出さず、ゆっくりと後退する。
- ・ クマが攻撃してきたら両手で顔や頭部をカバーする。
- ・ 体を丸くして地面に伏せて防御する。

鳥獣捕獲従事者、農業従事者の皆様は下記に留意してください。

□鳥獣捕獲従事者の対策

- ・ シカやイノシシ等を捕獲するためにわなを設置する際には、クマの捕獲に繋がらないよう、わなの構造に注意する。
- ・ わなを設置する前には、クマの痕跡を十分確認することとし、痕跡を発見した場合には、わなの設置を中止する。

□農業従事者の対策

- ・ 家畜の飼料はクマの餌となるため、保管倉庫の戸締りを徹底し夜間の侵入を防止する。
- ・ 農作物の収穫残渣を畑等に放置せぬよう、適切に処理する。

クママップ

県ではクマの出没情報「クママップ」をホームページで公開しています。山に入る際などは、「クママップ」でクマの出没状況を確認してください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/4964.html>